



「地元ナース特論」

部分受講の募集

「地元ナース特論」は、令和7年度開講の大学院博士前期課程の新設科目です。この科目は、地域の医療福祉の担い手である「地元ナース」*が、自らの役割を再認識し、発展的な看護を実践する能力の向上を目指します。また、本学の直接的な社会貢献として、看護の発展に寄与する“学び直し”の学修プログラムです。

この度、「地元ナース特論」の部分的な受講を受付けます**。一緒に学んでみませんか。より多くの方の応募をお待ちしております。

“学び直し”を
通して、看護をより
深く、より楽しく

- 開 講：令和7年9月22日(月) から
- 受講受付期間：令和7年8月1日(金)～8月25日(月)必着
- 受講料：無料
- 対象者：小規模病院・診療所、訪問看護ステーション等に勤務している方、
地元医療福祉の推進に関心のある方(准看護師の方も受講可能です)
- 内 容：裏面および添付の「授業概要」をご参照ください
- 申込方法などの詳細は、本学ホームページのお知らせ「令和7年度地元ナース特論
受講生の募集案内／部分的な受講を希望する方」をご覧ください。
(<https://www.yachts.ac.jp/center/news/>)
- 問合せ先：山形県立保健医療大学 看護実践研究センター
TEL:023-686-6643 E-mail:ns-cent@yachts.ac.jp

* 「地元ナース」：地方の小規模病院・診療所、訪問看護ステーション、高齢者施設、障がい者施設、在宅ケア関連機関等で地元住民の多様な健康問題に幅広く対応できる看護職。

** 部分的な受講は、大学院の単位取得、履修証明書プログラム、職業実践力育成プログラムには該当しませんのでご了承ください。



■開講時期

・令和7年9月22日(月)～令和8年2月10日(火) *

* 上記の期間に、概ね週に1日授業を行います。

・受付期間:8月1日(金)～8月25日(月)必着

郵送する場合 8月25日(月)必着

持参する場合 受付時間は午前9時～午後5時とします。土曜日及び日曜日の受付は行いません。

・書類を右下の【送付先及び問い合わせ先】まで簡易書留で送付してください。

封筒の表に「部分受講願書在中」と朱書きしてください。

■授業構成・内容など

授業構成・項目	授業内容・月日・授業数
地域包括ケア時代の看護	今日の看護・看護教育 (9/22、3回)
	地域包括ケアシステムと中小規模病院の役割 (9/30、3回)
	地域包括ケアの現状と課題 (10/7、3回)
	看護職の働きがいと課題 (10/14、3回)
看護実践と専門的アセスメント	身体機能アセスメント (10/21、3回)
	精神・発達アセスメント (10/28、1回)
	看護実践の記述 (10/28、2回)
看護実践と研究	看護実践に基づく研究、研究リテラシー (11/4、2回)
	研究デザインと方法 (11/4・11/11、3回)
	倫理的配慮・研究計画 (11/11・11/18、2回)
	研究計画検討・発表 (11/18・12/9、5回)
エビデンスに基づく看護ケア	皮膚ケアと看護 (11/25、2回)
	摂食・嚥下困難のある患者の看護 (12/2、2回)
	リハビリテーション栄養 (12/2、1回)
	心臓リハビリテーションと看護 (11/25、1回)
ケア創造に向けた発想・連携	ファシリテーションのスキル (12/3、3回)
	ケアの発想と創造 (12/10、3回)
次世代育成プログラムの設計	実習プログラム設計 (12/17、2回)
	現任教育プログラム設計 (12/24・1/7、4回)
看護実践の哲学	実践を支える看護理論 (12/16・12/23、4回)
	看護場面と看護観の再構成 (1/6・1/13、6回)
看護研究力の醸成	文献クリティークの意義・方法 (1/14、3回)
	研究の基盤となる理論・思想 (1/21、3回)
	研究計画の洗練 (2/3、2回)
	研究計画指導・査読 (2/4・2/10、2回)

【送付先及び問い合わせ先】

公立大学法人山形県立保健医療大学 看護実践研究センター
〒990-2212 山形県山形市上柳 260 番地

TEL : 023-686-6643 / FAX :023-686-6675

E-mail : ns-cent@yachts.ac.jp